

報道機関各位

県内大学生に青森の魅力を伝えるYES！AOMORIワークショップを開催します

県では、若者の県内定着・還流に向け、若者と、若者の将来選択に大きな影響を与える保護者世代をターゲットに、青森の過去と現在の違いや青森の価値・魅力を発信し「青森は良い方向に変わってきている」ことへの理解を促進していく取組を「YES！AOMORI」をキャッチフレーズに実施しています。

この取組の一環として、県内大学生を対象に、県内社会人との交流を通じて、青森の良さや青森で暮らすことの魅力について理解を深めてもらい、将来暮らし働く場所を選択する際の価値観の幅を広げてもらうことなどを目的として、下記のとおりワークショップを開催します。

つきましては、当日の取材について、よろしくお取り計らい願います。

記

- 1 日時 令和3年6月24日（木） 13：30～16：00
- 2 場所 八戸学院大学8号館3階「多目的室」（〒031-8588 八戸市美保野13-98）
- 3 プログラム 別紙のとおり
- 4 参加者 八戸学院大学の学生30名程度
- 5 その他 会場では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マスクの着用、手指の消毒等へのご協力をお願いします。

報道機関用提供資料（連絡先）	
担当課・ 担当者名	企画政策部 企画調整課 基本計画推進グループ 県民みんなが考える「いいよね青森」推進事業担当 主幹 工藤 倫子
電話番号	内線 2304
	直通 017-734-9131
報道監	企画政策部次長 富谷 正行

八戸学院大学ワークショップ

- 1 日時 令和3年6月24日(木) 13:30~16:00
- 2 対象 八戸学院大学2~3年生30名程度
- 3 会場 8号館3階「多目的室」
- 4 プログラム

(1)「変わってきた青森」についてのゲストトーク

青森で暮らし働く魅力や、青森県の可能性など、青森の未来に前向きになれるトーク

ゲスト 合同会社南部どき 代表社員 根市大樹氏

青森県南部町出身。大阪芸術大学卒業後、新聞記者、オーストラリアなどへの留学を経て、2011年に弟でシェフの拓実さんとフレンチレストランを開店。農業のかたわら「NPO 法人青森なんぶの達人村」立ち上げに関わり、2016年に合同会社「南部どき」を設立。2018年12月には三戸駅前にカフェをオープンし、南部町産の果樹のウッドチップを使ったスモークナッツ等の製造・販売を行うなど、地域活性化に力を注ぐ。

(2) グループワーク

① 価値観カードゲーム

- ・手にしたカードを自身の価値観、大切にしたいものと照らし合わせ、ピンとこないカードを手放していくゲーム感覚のワーク。
- ・最後まで手元に残った5枚のカードを大切な順に並べ、自身の価値観を具体化しながら、それを実現するのに適している場所について考えていく。

② 社会人との対話による「青森の価値」発見

- ・カードゲーム結果を基に、社会人ファシリテーターが学生の価値観を掘り下げながら、「青森の価値や魅力、可能性」などを引き出していく。

③ 「私にとっての青森」の発表・共有

- ・ワークを踏まえ、学生がそれぞれの「私にとっての青森」とは何かを考え、発表する。

5 その他<会場案内>



<ワークショップ会場> 8号館3階「多目的室」